

報道関係各位

News release

2021 年 5 月 6 日

マーサー、運用商品の ESG 評価の状況を発表

ESG 評価の高い運用商品の超過収益は、ESG 評価の低い運用商品の超過収益を上回る結果に

世界最大級の組織・人事コンサルティング会社マーサーの日本法人であるマーサージャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 草鹿 泰士）は、マーサーによる運用商品の ESG 評価レーティングの状況を発表しました。

マーサーは 2008 年から運用商品において ESG 要因が運用プロセスに組み入れられている度合いを、グローバルに 200 名超が配置されているリサーチャーが評価し、ESG 評価レーティングを付与しています。ESG 評価レーティングは 1 から 4 の 4 段階で表示し、1 が最も高く、4 が最も低い評価となります。2021 年 4 月時点では、5,572 の運用商品にレーティングを付与しています。相対的に評価の高い ESG1 または ESG2 の割合は全体では 25%となっており、資産別ではインフラストラクチャー、天然資源、株式、不動産が高くなっています。

2021 年 4 月時点における、ESG 評価レーティングの付与数と分布は、以下の表の通りです。

ESG 評価レーティングの付与数

	ESG1	ESG2	ESG3	ESG4	合計
株式	123	630	1,181	302	2,236
債券	17	157	803	406	1,383
バランス/マルチアセット	0	14	75	92	181
ヘッジファンド	1	11	73	107	192
プライベートエクイティ	30	88	232	200	550
プライベートデット	1	13	81	67	162
不動産	20	149	279	117	565
インフラストラクチャー	20	63	70	8	161
天然資源	3	25	21	15	64
その他	0	4	41	33	78
合計	215	1,154	2,856	1,347	5,572

ESG 評価レーティングの分布

	ESG1	ESG2	ESG3	ESG4	合計	ESG1 または 2
株式	6%	28%	53%	14%	100%	34%
債券	1%	11%	58%	29%	100%	13%
バランス/マルチアセット	0%	8%	41%	51%	100%	8%
ヘッジファンド	1%	6%	38%	56%	100%	6%
プライベートエクイティ	5%	16%	42%	36%	100%	21%
プライベートデット	1%	8%	50%	41%	100%	9%
不動産	4%	26%	49%	21%	100%	30%
インフラストラクチャー	12%	39%	43%	5%	100%	52%
天然資源	5%	39%	33%	23%	100%	44%
その他	0%	5%	53%	42%	100%	5%
合計	4%	21%	51%	24%	100%	25%

マーサー・ジャパンのウェルス・コンサルティング本部代表である五藤智也は、次のように述べています。

「過去数年間で、投資家の ESG への関心は急速に高まり、一過性のブームではなく、長期的な取り組みとして根付いてきていると感じています。例えば、弊社が実施した欧州の投資家のサーベイによると、ESG リスクを考慮していると回答した割合は一昨年の 55%から昨年は 89%に増加しています。また、ESG の考慮がパフォーマンスに対してプラスの影響があるのかは議論の多い点になりますが、弊社が超過収益の獲得が平均以上の可能性であると評価した運用商品において、ESG 評価レーティングが 1 または 2 の運用商品の超過収益は、3 または 4 の運用商品の超過収益を過去 3 年間で年率 2.8%ポイント上回るという結果となっています。投資家の ESG への関心が高まり、ESG 要因を考慮する運用商品が増え、グリーンウォッシングの問題も出てきており、投資家が ESG 要因の統合の進んでいる運用商品を見分けることが難しい状況となっています。そのような中で、弊社の 10 年以上の実績を持つ ESG 評価レーティングをご提供することにより、日本の投資家の ESG 投資の一助になればと思います」

マーサーの ESG 評価レーティングについて

運用商品の運用プロセスにおける ESG 要因の統合の度合いを評価しています。以下の表のように、1 から 4 の 4 段階のレーティングとして表示され、1 が最も高く、4 が最も低い評価となります

レーティング	定義
ESG1	運用プロセスへ ESG 要因の統合についてマーケットリーダーとして評価できる水準
ESG2	ESG1 ほどの水準にはないが、運用プロセスにおける ESG 要因の統合は進んでいると考えられる水準
ESG3	今後改善は期待されるものの、運用プロセスにおける ESG 要因の統合については限定的な進捗状況にあると考えられる水準
ESG4	運用プロセスにおける ESG 要因の統合の動きはみられず、今後も現状がかわる可能性は少ないと考えられる水準

マーサーについて

[マーサー](#) はより輝かしい未来は築くことができるものと信じています。私たちはクライアントと共に、仕事そのものを再定義し必要な改革に導き、退職制度や年金の投資成果を再構築します。そして、真の健康とウェルビーイングへと導くビジョンを掲げています。全世界約 25,000 名のスタッフが 43 カ国をベースに、130 カ国でクライアント企業と共に多様な課題に取り組み、最適なソリューションを総合的に提供しています。マーシュ・マクレナン（NYSE：MMC）グループの一員として、日本においては 40 年以上の豊富な実績とグローバル・ネットワークを活かし、あらゆる業種の企業・公共団体に対するサービス支援を行っています。

マーシュ・マクレナンについて

マーシュ・マクレナン（NYSE：MMC）は、グローバルプロフェッショナルサービスを提供する企業グループとして、顧客企業にリスク、戦略、人材分野の助言とソリューションを提供しています。[マーシュ](#)（保険仲介とリスクマネジメント）、[ガイ・カーペンター](#)（再保険仲介・コンサルティング）、[マーサー](#)（組織・人事マネジメント・コンサルティング）、そして[オリバー・ワイマン](#)（戦略コンサルティング）から構成されており、年間総収入 170 億米ドル、全世界に 76,000 名の従業員を擁し、世界各地の顧客に分析・アドバイスを提供しています。

お問い合わせ

マーサージャパン株式会社

担当: 資産運用コンサルティング部門

Tel: 03 6775 6500（部門代表）

Email: investment.japan@mercer.com

広報: 天野

Tel: 070 7548 7209

Email: pr.japan@mercer.com